

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保健 I		
必修選択	必修	(学則表記)	保健 I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）	1	30
使用教材	保健 I		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得する。				
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を实践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	保健 II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石山広美他1名	実務経験	○		
実務内容	看護師として、循環器内科、脳神経外科、救急外来等勤務。現在、保健・皮膚学・生理学の講師として専門学校に勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1章/頭部、顔部、頸部の体表解剖学	1項 人体各部の名称
2	第1章/頭部、顔部、頸部の体表解剖学	2項 頭部、顔部、頸部の体表解剖学
3	第2章/骨格器系	1項 骨の種類と構造 2項 骨の連結
4	第2章/骨格器系	3項 骨格器系とのはたらき
5	第3章/筋系	1項 筋の種類とその特徴 2項 主な骨格筋とのはたらき

6	第3章/筋系	3項 表情筋と表情運動
7	まとめ	まとめを行う
8	解説	振り返り・解説
9	第4章/神経系	1項 神経系の成り立ち
10	第4章/神経系	2項 中枢神経とそのはたらき 3項 末梢神経とそのはたらき
11	第5章/感覚器系	1項 視覚 / 2項 聴覚 / 3項 平衡感覚
12	第5章/感覚器系	4項 味覚 / 5項 嗅覚 / 6項 皮膚感覚
13	まとめ	まとめを行う
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	第6章/血液と免疫系	1項 血液のあらまし
17	第6章/血液と免疫系	2項 免疫のあらまし 3項アレルギー
18	第7章/循環器系	1項 心臓のあらまし 2項 血液循環のしくみ
19	第7章/循環器系	3項 血液の循環経路
20	第7章/循環器系	4項 リンパ管系の仕組みとはたらき
21	第6章・第7章振り返り	6章、7章の振り返り、要点解説
22	まとめ	まとめを行う
23	解説	振り返り・解説
24	第8章/呼吸器系	1項 呼吸器系のあらまし 2項 気道

25	第8章/呼吸器系	3項 肺の仕組みとガス交換 4項 呼吸運動
26	第9章/消化器系	1項 消化器系のあらまし 2項 消化管の仕組み
27	第9章/消化器系	3項 消化管のはたらき 4項 消化管と物質代謝
28	まとめ	まとめを行う
29	解説	振り返り・解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論 I		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論 I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）	3	90
使用教材	美容技術理論 I		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。				
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	技術理論 II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	山田 順子他 1名	実務経験	○		
実務内容	美容師【7年】、専門学校教員として【20年以上】勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション <序章 美容技術理論を学ぶにあたって>	※ 美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れを説明 ・美容理論について・美容技術者としての心構え・安定した姿勢、作業点と姿勢 ・作業点と姿勢 ・力の配分と姿勢 ・人体各部の名称 ・美容における頭部の区分
2	<第1章 美容用具> 1. 美容技術における用具 2. コーム 3. ブラシ 4. シザーズ	・美容の道具、器具、機械、取り扱い方 ・コームの種類と各部の名称、選定法、手入れ法・ブラシの種類、選定法と手入れ法 ・シザーズの種類、各部の名称、選定法と手入れ法

3	<p><第1章 美容用具></p> <p>5. レザー 6. ピン類、ヘアクリップ</p> <p>7. ロッド</p> <p>8. ローラー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな太さのローラー ・ホットカーラー（ローラー） ・レザーの種類と各部の名称、刃線の形態と力のかかり方、選定法と手入れ法 ・ヘアピンのいろいろ・ロッドの種類
4	<p><第1章 美容用具></p> <p>9. ヘアアイロン 10. ヘアドライヤー</p> <p>11. ヘアスチーマー 12. 遠赤外線機</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアアイロンの種類、各部の名称、選定法と手入れ法 ・ヘアドライヤーの種類と構造 ・タービネートタイプドライヤーの構造 ・ヘアスチーマーの選定法・遠赤外線機役割
5	<p><第2章 シャンプーイング></p> <p>1. シャンプーイング総論</p> <p>2. サイドシャンプー 3. バックシャンプー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シャンプーイングの目的、施術の内容による目的の違い、メカニズム ・シャンプー剤の成分、種類・シャンプーイングの際の注意・シャンプー技術のプロセス ・ブラッシング・ファースト、セカンドシャンプー・バックシャンプーの手順、指の動き
6	<p><第2章 シャンプーイング></p> <p>4. リンス、コンディショナー・トリートメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リンス、コンディショナー、トリートメントの役割、違い、成分 ・リンスの目的、種類、技術・コンディショナーの目的 ・ヘアトリートメントの目的、種類技術の一例
7	<p><第2章 シャンプーイング></p> <p>5. スカルプトリートメント</p> <p>6. ヘッドスパ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スカルプトリートメントの目的、要素、種類・頭皮のトラブルのいろいろ ・育毛剤の成分とはたらき・ノーマルスカルプトリートメント技術の一例 ・スカルプマッサージ技術の目的と手順 ・ヘッドスパのプロセス、リラクゼーションマッサージ
8	前期まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：序章～第2章】
9	<p><第5章 パーマネントウェーピング></p> <p>1. パーマネントウェーブの歴史と現在</p> <p>2. パーマネントウェーブの理論</p> <p>3. パーマ剤の分類</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パーマネントウェーブをはじめとする美容関係の歴史・毛髪の構造について ・ウェーブが形成される仕組み・パーマ剤の分類、種類
10	<p><第5章 パーマネントウェーピング></p> <p>4. パーマ剤に関する注意事項</p> <p>5. パーマネントウェーブ技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・使用前、操作中に関する注意事項 ～ 毛髪診断
11	<p><第5章 パーマネントウェーピング></p> <p>5. パーマネントウェーブ技術</p> <p>6. 縮毛矯正(高温整髪用アイロン使用)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パーマネントウェーブ技術 シャンプー ～ 縮毛矯正(高温整髪用アイロン使用)

12	<第3章 ヘアデザイン> 1. 美容とデザイン	・錯覚現象を美容に生かそう・デザインの要素
13	<第3章 ヘアデザイン> 1. 美容とデザイン	・デザインの原理
14	前期期末まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：第5章・第3章】
15	総合授業	総まとめを行う
16	<第4章 ヘアカットイング> 1. ヘアカットイングとは 2. シザーズとレザーの扱い方 3. 美容刃物 4. ヘアカットイングの正しい姿勢	・シザーズ、レザーの持ち方等・刃物の材質、材料、正しい姿勢の基本
17	<第4章 ヘアカットイング> 5. ブロッキング 6. ヘアカットイングの基礎理論 7. ベーシックなカット技法	・頭部の基礎分割線・基準となる頭部のポイント、スライスの種類・パネルと頭皮の角度・毛先が集まる位置とカットラインの関係・パネルの幅や長さでカットラインの関係・パネルの角度とシルエットの関係・ラインの設定法 ・ワンレングスカット・グラデーションカット・レイヤーカット・セイムレングスカット
18	<第4章 ヘアカットイング> 8. シザーズによるカット技法 9. レザーによるカット技法	・シザーズによるカット技法、ストロークの分類 ・レザーによるカット技法のいろいろ、テーパーカットの分類
19	後期中間まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：第4章】
20	<第6章 ヘアセッティング> 1. ヘアセッティングとは 2. ヘアパーティング 3. ヘアシェーピング	・オリジナルセットの基本的な要～ ストランドシェープ、フィンガーウエーブ時の持ち方
21	<第6章 ヘアセッティング> 4. ヘアカーリング	・オリジナルセットの基本的な要～ ストランドシェープ、フィンガーウエーブ時の持ち方 ・カール各部の名称、分類～ クロッキノールカール技術の一例
22	<第6章 ヘアセッティング> 5. ヘアウエーピング 6. ローラーカーリング	・ヘアウエーブの名称、分類～ ローラーウエーブ ・ベースの幅と厚さ
23	<第6章 ヘアセッティング> 7. ブロードライ 8. アイロンセッティング	・ハンドドライヤーとブラシの基本操作 ・アイロンの持ち方
24	9. バックコーミング 10. アップスタイル 11. ウィッグとヘアピース	・バックコーミング・アップスタイル ・ウィッグ、ヘアピース手入れ法

25	<p><第7章 ヘアカラーリング></p> <p>1. ヘアカラーリング概要</p> <p>2. ヘアカラーの種類</p> <p>3. ヘアカラーのタイプ別特徴</p> <p>4. 染毛のメカニズム</p>	<p>・ヘアカラーリングの歴史、種類 ～ タイプ別染毛メカニズム</p>
26	<p><第7章 ヘアカラーリング></p> <p>4. 染毛のメカニズム 5. 色の基本</p> <p>6. 毛髪のレベルとアンダートーン</p>	<p>・ヘアカラーの色選び～アンダートーン</p>
27	<p><第7章 ヘアカラーリング></p> <p>7. パッチテスト 8. 染毛剤使用時の注意</p> <p>9. ヘアカラーリングの道具</p> <p>10. 酸化染毛剤の技術手順</p> <p>11. 酸性染毛剤料の技術手順</p>	<p>・染毛剤と皮膚炎・ヘアカラーリング専用の施術道具</p> <p>・パッチテスト・酸性染毛剤料の技術手順</p>
28	後期期末まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：第4章・第6章、第7章】
29	まとめ・解説	まとめ・解説を行う
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	衛生管理 I		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理 I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）	1	30
使用教材	衛生管理		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解する。				
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけでなく、業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	河合 静香	実務経験	○		
実務内容	看護師として消化器内科・血液内科等で勤務し、その後、生理学・皮膚学・衛生管理の講師として専門学校に勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編 公衆衛生 1章公衆衛生の概要	美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れを説明 健康の定義、公衆衛生の歴史、保健所の役割
2	第1編 公衆衛生 2章保健	「母子保健」
3	第1編 公衆衛生 2章保健	「成人・高齢者」
4	第1編 公衆衛生 2章保健	「成人・高齢者」
5	第1編 公衆衛生 2章 保健	「成人・高齢者」「精神保健」

6	第1編 公衆衛生 2章 保健	まとめ
7	第2編 環境衛生 1章 環境衛生	1節 環境衛生の概要
8	第2編 環境衛生 2節 空気環境	空気と健康 温熱環境と健康
9	第2編 環境衛生 3節 衣装・住居の衛生	衣服の衛生
10	第2編 環境衛生 3節 衣装・住居の衛生	住居の衛生
11	第2編 環境衛生 4節上・下水道と廃棄物	上水道、下水道、廃棄物
12	第2編 環境衛生 5節 衛生害虫とネズミ 6節 環境保全	衛生害虫とネズミ 水質汚濁
13	まとめ	まとめ
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめ
16	第3編 感染症 1章 感染症の概要	美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れを説明 健康の定義、公衆衛生の歴史、保健所の役割
17	第3編 感染症 1章 感染症の総論①	人と感染症・感染症の歴史・法律、感染症の分類
18	第3編 感染症 1章 感染症の総論①	人と感染症・感染症の歴史・法律、感染症の分類
19	第3編 感染症 1章 感染症の総論②	病原微生物の種類と構造・環境の影響
20	第3編 感染症 1章 感染症の総論②	病原微生物の種類と構造・環境の影響
21	第3編 感染症 1章 感染症の総論③	感染症の予防免疫と予防接種
22	第3編 感染症 1章 感染症の総論③	予防のための3原則 まとめを実施する
23	第3編 感染症 2章 感染症の各論①	空気・飛沫、飲食物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策

24	第3編感染症 2章感染症の各論①	空気・飛沫、飲食物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
25	第3編感染症 2章感染症の各論②	血液等、動物・節足動物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
26	第3編感染症 2章感染症の各論②	血液等、動物・節足動物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
27	第3編感染症 2章感染症の各論③	具体的な対策の例
28	まとめ	まとめ
29	解説	振り返り・解説
30	総まとめ	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習 I - A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習 I - A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）	3	90
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第2課題ワインディング技術について基礎を理解し習得する				
到達目標	美容師国家試験第2課題ワインディング技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論 I ・美容実習 I - E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	渋谷久美子他	実務経験	○		
実務内容	美容室で美容師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認（道具名称・扱い方・管理方法）、机上セッティング、ウィッグの取り扱い、コームワーク、縦スライス、横スライス、二重ゴム、分け取り、姿勢、体の使い方、構成習得、国家試験衛生
2	ワインディング	コームワーク、縦スライス、横スライス、二重ゴム、分け取り、ブロッキング構成習得、復習強化、姿勢、体の使い方、ブロッキング計測15分
3	ワインディング	ブロッキング構成習得、復習、強化、ブロッキング計測15分～13分、センター導入 上巻き導入、姿勢・体の使い方・目線・立ち位置
4	ワインディング	ブロッキング構成、計測13分～10分、センター導入、上巻き復習・下巻き導入
5	ワインディング	ブロッキング構成、計測10分、上巻き、下巻き、センター巻き、復習、強化

6	ワインディング まとめ	ブロッキングまとめを実施する 計測 10分、コームで取るブロッキング（12ブロック）導入 計測 15～13分、センター強化、（センター15分）計測 1本60秒、フロント導入、構成
7	ワインディング	ブロッキング（コーム、12ブロック）計測 10分、センター強化、（センター15分）計測 1本 60秒 フロント復習、強化、右バックサイド～ネープ導入
8	ワインディング	ブロッキング（コーム、12ブロック）計測 10～8分、センター強化、（計測センター12分～ 13分）計測 1本約50秒、フロント、右バックサイド復習、強化、右サイド導入
9	ワインディング	ブロッキング（コーム、9ブロック）計測 8～6分、（センター計測 11分～12分）計測 1本約 45秒、フロント、両バックサイド～ネープ復習、強化、サイド復習
10	ワインディング	ブロッキング（コーム、9ブロック）計測 6～5分、（センター計測 10分～11分）計測 1本約 40秒、フロント、両バックサイド～ネープ強化、サイド復習
11	ワインディング	ブロッキング（コーム、9ブロック）計測 5～4分、（センター計測 10分～11分）計測 1本約 40秒、フロント、右サイド復習、左バックサイド～ネープ導入
12	ワインディング	ブロッキング（コーム、9ブロック）計測 4～3分、（センター計測 9分～10分）計測 1本約 3 5秒 フロント、右サイド復習、左バックサイド～ネープ復習、サイド導入
13	ワインディング	ブロッキング（コーム、9ブロック）計測 4～3分、（センター計測 9分～10分） 計測 1本約 35秒全頭復習、左サイド復習、強化
14	ワインディング 総まとめ	ワインディング総まとめを実施する 計測ブロッキング（コーム、9ブロック）4分 全頭巻き 35分
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習 I - B		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習 I - B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）	3	90
使用教材	シャンプー教材一式 美容技術理論 I ・ VR コンテンツ		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	シャンプーイングの目的と頭皮毛髪の基本的知識を習得し、施術内容によるシャンプーイングの違いを知る				
到達目標	シャンプーイングの目的を理解しシャンプー技術のプロセスを身に付ける				
評価基準	シャンプー：総まとめ25% まとめ15% 授業態度10% 各校フリー：総まとめ25% まとめ15% 授業態度10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	美容技術理論 I				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「シャンプーイング」「各校フリー」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。 				
担当教員	山下真奈他	実務経験	○		
実務内容	トータルビューティーサロンにて勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認（道具名称・扱い方・管理方法） シャンプー台の利用の仕方、シャンプー知識
2	シャンプーイング	ブラッシング、シャワーヘッドの使用法、シャンプープロセスの理解・
3	シャンプーイング	シャンプーのプロセスの復習

4	シャンプーイング	プレシャンプー
5	シャンプーイング	シャンプー手順 1シャンプー
6	シャンプーイング	1シャンプー、リンス、コンディショナー、トリートメント
7	シャンプーイング	1シャンプー、トリートメントプロセス
8	シャンプーイング まとめ	シャンプーイング まとめを実施する 1シャンプー～トリートメントプロセス 振り返り
9	シャンプーイング	2シャンプー、スカルプトリートメント
10	シャンプーイング	2シャンプー、スカルプトリートメント
11	シャンプーイング	2シャンプー、スカルプトリートメント・ヘッドスパ（プロセス）
12	シャンプーイング 総まとめ	シャンプーイング 総まとめを実施する 2シャンプー、スカルプトリートメント 振り返り
13	シャンプーイング	ヘッドスパ（リラクゼーションマッサージ）
14	シャンプーイング	ヘッドスパ（リラクゼーションマッサージ）
15	総合授業	シャンプー技術振り返り
16	Data[2-16-1]	Data[2-16-2]
17	Data[2-17-1]	Data[2-17-2]
18	Data[2-18-1]	Data[2-18-2]
19	Data[2-19-1]	Data[2-19-2]
20	Data[2-20-1]	Data[2-20-2]
21	Data[2-21-1]	Data[2-21-2]
22	Data[2-22-1]	Data[2-22-2]

23	Data[2-23-1]	Data[2-23-2]
24	Data[2-24-1]	Data[2-24-2]
25	Data[2-25-1]	Data[2-25-2]
26	Data[2-26-1]	Data[2-26-2]
27	Data[2-27-1]	Data[2-27-2]
28	Data[2-28-1]	Data[2-28-2]
29	Data[2-29-1]	Data[2-29-2]
30	Data[2-30-1]	Data[2-30-2]
31	Data[2-31-1]	Data[2-31-2]
32	Data[2-32-1]	Data[2-32-2]

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習 I - C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習 I - C		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）		90
使用教材	カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル ヘアアレンジ一式、ヘアアレンジテキスト（デジタルテキスト）		出版社	公益財団法人美容師試験 研修センター ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【国家試験カット】美容師国家試験第1課題レイヤーカットの構成 基礎知識を習得する 【ヘアアレンジ】頭部の名称からヘアアレンジの基礎技術・現場での基礎技術を出来る様にする 【フリー】各校記入				
到達目標	【国家試験カット】国家試験第1課題レイヤーカット技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す 【ヘアアレンジ】ブラッシング・ピニングのヘアアレンジの基本テクニックを理解する。 編み込みやコテの使用等のヘアアレンジが出来る様になる。就職活動に必要なセルフテクニックを知る。 【フリー】各校記入				
評価基準	・ワインディング：総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10% ・フリー：総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10% ・ヘアアレンジ：テスト40% 小テスト30% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	【国家試験カット】美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅰ-D・美容実習Ⅰ-E 【ヘアアレンジ】美容実習Ⅰ-A・美容実習Ⅰ-D・美容実習Ⅰ-E・ヘアアレンジ				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「ヘアアレンジ」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	進藤琢哉他	実務経験	○		
実務内容	美容室にて美容師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
----	----	----

1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認（道具名称・扱い方・管理方法）机上セッティング 道具の扱い方、シザー持ち方開閉、コームワーク、立ち位置、姿勢 ワンレングスブロッキング ワンレングスカットを実施
2	国家試験カット	道具の扱い方、姿勢、立ち位置、ブロッキング、スライスの取り方、シザーの開閉、シェーピング グ仕方、止め方 ワンレングスカット、レイヤーカットを実施 国家試験ブロッキング導入
3	国家試験カット	基本動作（姿勢・コームの使い方・留め方）の確認・復習 国家試験ブロッキング復習
4	国家試験カット	基本動作の確認・復習（姿勢・コームの使い方・留め方・シザーの開閉） 国家試験ブロッキング復習（計測：10分～8分）・ヘムライン導入
5	国家試験カット	基本動作の確認・復習 国家試験ブロッキング復習（計測：8分）・ヘムライン復習
6	国家試験カット まとめ	まとめの実施 国家試験ブロッキング（計測：8分） ヘムライン復習 第3ブロック導入
7	国家試験カット	ブロッキング・ヘムライン、第3ブロック復習 第2ブロック導入
8	国家試験カット	ブロッキング・ヘムライン・第3ブロック・第2ブロック復習 第1ブロック導入
9	国家試験カット	ブロッキング・ヘムライン・第3ブロック・第2ブロック・第1ブロック復習 バックカット修正導入
10	国家試験カット	ブロッキング～バックカット修正までの復習（計測：25分）
11	国家試験カット	ブロッキング～バックカット修正までの復習（計測：23分）
12	国家試験カット	ブロッキング～バックカット修正までの復習（計測：21分）
13	国家試験カット	ブロッキング～バックカット修正までの復習（計測：20分）
14	国家試験カット 総まとめ	総まとめを実施する バックまでのカット（修正込み計測：20分）
15	総合授業	前期振り返り
16	Data[2-16-1]	Data[2-16-2]

17	Data[2-17-1]	Data[2-17-2]
18	Data[2-18-1]	Data[2-18-2]
19	Data[2-19-1]	Data[2-19-2]
20	Data[2-20-1]	Data[2-20-2]
21	Data[2-21-1]	Data[2-21-2]
22	Data[2-22-1]	Data[2-22-2]
23	Data[2-23-1]	Data[2-23-2]
24	Data[2-24-1]	Data[2-24-2]
25	Data[2-25-1]	Data[2-25-2]
26	Data[2-26-1]	Data[2-26-2]
27	Data[2-27-1]	Data[2-27-2]
28	Data[2-28-1]	Data[2-28-2]
29	Data[2-29-1]	Data[2-29-2]
30	Data[2-30-1]	Data[2-30-2]
31	Data[2-31-1]	Data[2-31-2]
32	Data[2-32-1]	Data[2-32-2]

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習 I - D		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習 I - D		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）	3	90
使用教材	オールウェーブ教材一式 カット教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル VR		出版社	公益財団法人理容師美容師試験 研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第1課題カットの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 美容師国家試験第2課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する				
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術、第2課題オールウェーブ技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す				
評価基準	オールウェーブ：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅰ-C・美容実習Ⅰ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「オールウェーブセッティング」「国家試験カット」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	白戸ありさ他	実務経験	○		
実務内容	美容室で美容師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 教材確認（教材の名称、扱い方、管理方法）、ウィッグ事前仕込み（カット）
2	オールウェーブセッティング	ウィッグ事前仕込み（カット、パーマ）
3	オールウェーブセッティング	ウィッグ事前仕込み（カット、パーマ） ローション塗布・ウェーブの基本導入
4	オールウェーブセッティング	ウィッグ事前仕込み（カット、パーマ）机上セッティング、道具確認 7段構成の展開図及び構成完成図の手順確認・ウェーブ基本・リッジ

5	オールウエーブセッティング	ウェーブ・リッジ復習 1 段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール（スライス、手順、ピニング）
6	オールウエーブセッティング	1 段目復習 2 段目ウエーブ、リッジ導入
7	オールウエーブセッティング	1 段目・2 段目復習 3 段目導入（ウエーブ、リッジ、スカルプチュアカール）
8	オールウエーブセッティング	1 段目～3 段目 各段強化
9	オールウエーブセッティング	1 段目～3 段目 復習・強化（計測：20分）
10	オールウエーブセッティング	1 段目～3 段目 復習・強化（計測：20分）
11	オールウエーブセッティング まとめ	まとめを実施する 1 段目～3 段目（計測20分） 右側、左側ウエーブ、リッジ、くり抜き導入
12	オールウエーブセッティング	1～3 段目構成、計測18分～15分 右側、左側ウエーブ、リッジ、くり抜き復習、強化
13	オールウエーブセッティング	1～3 段目構成、計測15分 右側、左側ウエーブ、リッジ、くり抜き復習、強化、計測左右各6分～5分
14	オールウエーブセッティング 総まとめ	総まとめを実施する 1～3 段目、右側・左側ウエーブ、リッジ、くり抜き計測27分
15	総合授業	後期振り返り
16	Data[2-16-1]	Data[2-16-2]
17	Data[2-17-1]	Data[2-17-2]
18	Data[2-18-1]	Data[2-18-2]
19	Data[2-19-1]	Data[2-19-2]
20	Data[2-20-1]	Data[2-20-2]
21	Data[2-21-1]	Data[2-21-2]
22	Data[2-22-1]	Data[2-22-2]
23	Data[2-23-1]	Data[2-23-2]

24	Data[2-24-1]	Data[2-24-2]
25	Data[2-25-1]	Data[2-25-2]
26	Data[2-26-1]	Data[2-26-2]
27	Data[2-27-1]	Data[2-27-2]
28	Data[2-28-1]	Data[2-28-2]
29	Data[2-29-1]	Data[2-29-2]
30	Data[2-30-1]	Data[2-30-2]
31	Data[2-31-1]	Data[2-31-2]
32	Data[2-32-1]	Data[2-32-2]

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅰ - E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅰ - E		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）		90
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR ヘアアレンジ一式、ヘアアレンジテキスト（デジタルテキスト）		出版社	公益財団法人美容師試験 研修センター ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	<p>【ワインディング】美容師国家試験第2課題ワインディング技術を試験時間内に巻くことができ、国家試験レベルの技術を習得する</p> <p>【フリー】各校入力</p> <p>【ヘアアレンジ】頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする。</p>				
到達目標	<p>【ワインディング】美容師国家試験第2課題ワインディング技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す</p> <p>【ヘアアレンジ】人にする為の技術・知識と、セルフアップの為の技術・知識と、両方の視点で基礎技術と知識を理解出来るようにする。</p>				
評価基準	<p>・ワインディング：総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10%</p> <p>・フリー：総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10%</p> <p>・ヘアアレンジ：テスト40% 小テスト30% 授業態度30%</p>				
認定条件	<p>・出席が総時間数の5分の4以上ある者</p> <p>・成績評価が2以上の者</p>				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	<p>【ワインディング】美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅰ-A・美容実習Ⅰ-C・美容実習Ⅰ-D</p> <p>【ヘアアレンジ】美容実習Ⅰ-A・美容実習Ⅰ-C・美容実習Ⅰ-D・ヘアアレンジ</p>				
備考	<p>・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。</p> <p>・この科目は「ワインディング」「ヘアアレンジ」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。</p>				
担当教員	渋谷久美子	実務経験	○		
実務内容	美容室にて美容師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
----	----	----

1	新入生オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、教材確認（扱い方、管理方法） 前期復習 計測 35分～32分
2	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測32分～30分 全頭の構成の強化
3	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測30分～28分 全頭の構成の強化
4	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測28分～26分 全頭の構成の強化
5	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測28分～26分 全頭の構成の強化
6	ワインディング まとめ	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測28分 まとめを実施する ブロッキング込み全頭（計測28分） 全頭の構成の強化
7	ワインディング	ブロッキング込み全頭（計測26分） 全頭の構成の強化
8	ワインディング	ブロッキング込み全頭（計測25分） 全頭の構成の強化
9	ワインディング	ブロッキング込み全頭（計測24分） 全体構成の強化
10	ワインディング	ブロッキング込み全頭（計測23分） 全体構成の強化
11	ワインディング	ブロッキング込み全頭（計測22分） 全体構成の強化
12	ワインディング	ブロッキング込み 全頭（計測：21分）
13	ワインディング	総まとめを実施する（全頭計測：21分）
14	ワインディング 総まとめ	ブロッキング込み全頭（計測21分）
15	総合授業	後期振り返り
16	Data[2-16-1]	Data[2-16-2]
17	Data[2-17-1]	Data[2-17-2]
18	Data[2-18-1]	Data[2-18-2]

19	Data[2-19-1]	Data[2-19-2]
20	Data[2-20-1]	Data[2-20-2]
21	Data[2-21-1]	Data[2-21-2]
22	Data[2-22-1]	Data[2-22-2]
23	Data[2-23-1]	Data[2-23-2]
24	Data[2-24-1]	Data[2-24-2]
25	Data[2-25-1]	Data[2-25-2]
26	Data[2-26-1]	Data[2-26-2]
27	Data[2-27-1]	Data[2-27-2]
28	Data[2-28-1]	Data[2-28-2]
29	Data[2-29-1]	Data[2-29-2]
30	Data[2-30-1]	Data[2-30-2]
31	Data[2-31-1]	Data[2-31-2]
32	Data[2-32-1]	Data[2-32-2]

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	美容実習 I - F		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習 I - F		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）	2	60
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容室として現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。				
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。				
評価基準	企業側評価 60% 学校側評価 40%（ビジネスマナー 20%・各コース該当項目 20%）				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が 48 単位時間以上（実質時間数 40 時間以上）の者 ・成績評価が 2 以上の者 				
関連資格					
関連科目	就職対策 I ・ビジネスマナー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	進藤琢哉他	実務経験	○		
実務内容	美容室にて美容師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	施設実習	施設実習
2	施設実習	施設実習
3	施設実習	施設実習
4	施設実習	施設実習
5	施設実習	施設実習
6	施設実習	施設実習

7	施設実習	施設実習
8	施設実習	施設実習
9	施設実習	施設実習
10	施設実習	施設実習
11	施設実習	施設実習
12	施設実習	施設実習
13	施設実習	施設実習
14	施設実習	施設実習
15	施設実習	施設実習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビジネスマナー I		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスマナー I		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）	1	30
使用教材	サービス接遇検定公式テキスト 3級 サービス接遇検定実問題集 3級 就職ハンドブック		出版社	早稲田教育出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける				
到達目標	サービス接遇検定 3級に合格する。 美容の現場で敬語の使い方ができるようになる。社会人としてのマナーを身につける。				
評価基準	【評価】 テスト 50%、課題・提出物 20% 授業態度等 30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	サービス接遇検定 3級				
関連科目	就職対策				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	菅田 美穂	実務経験	○		
実務内容	医療機関にて局長秘書として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ビジネスマナーとは	授業の目的・到達目標について ビジネスマナーを学ぶ意味を知る
2	サービススタッフの資質	サービス業界で求められているものについて
3	サービススタッフの資質	必要とされる要件の復習・従業要件について
4	専門知識・一般知識	サービス知識、従業知識、一般知識について
5	対人技能（敬語）①	様々な接遇用語・敬語について

6	対人技能（敬語）②	尊敬語・謙譲語・二重敬語について
7	対人技能（一般的なマナー）	動作を行う際の基本・ポイントについて
8	対人技能①	人間関係について
9	対人技能②	一般的なマナー・接客者としてのマナーについて
10	対人技能③	話し方について
11	実務技能①	問題処理について
12	実務技能②	環境整備・金品管理について
13	社交業務	社交儀礼の業務について
14	総復習	1～13回までの総復習
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	カラー&ファッション		
必修選択	選択	(学則表記)	カラー&ファッション		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）	1	30
使用教材	新配色カード パーソナルカラーコーディネート検定テキスト パーソナルカラーコーディネート検定課題集		出版社	日本色研事業(株) クリエスクール	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ファッションの知識と共にヘアメイクとしてのトータルコーディネートとメイクとしての似合わせ等のカラー知識を学ぶ				
到達目標	様々なシーンでトータルコーディネートをする時に、しっかりとした理由付けが出来る				
評価基準	テスト 50%、提出物 30% 授業態度等 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	パーソナルカラーコーディネート検定(任意)				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	笹谷 幸恵	実務経験	○		
実務内容	カラーリストとしてフリーで活動				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	パーソナルカラーとは	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 パーソナルカラーについて
2	色の連想	色のイメージを知る
3	色の心理的効果	色の持つイメージと心理的効果について
4	色と光について①	色が見える不思議について①
5	色と光について②	色が見える不思議について②

6	色の特徴について①	色の基礎、有彩色、色の三属性の色相について
7	色の特徴について②	色の三属性の明度・彩度について
8	色の特徴について③	トーンについて
9	色の特徴について④	トーンのイメージワード、トーンのイメージについて
10	色の特徴について⑤	慣用色と配色の応用について
11	パーソナルカラーの基礎①	個人が生まれ持った色の違いや特徴をについて
12	パーソナルカラーの基礎③	身につける色の4つの特徴について
13	パーソナルカラーの基礎④	各シーズンの典型的なタイプについて
14	前期試験	前期まとめテスト
15	総合授業	テスト返却・総まとめの実施
16	パーソナルカラーの基礎⑤	対比と、色の作用や使い方について
17	パーソナルカラーの基礎⑥ パーソナルカラーの判定①	照明によっても見え方の違いについて
18	パーソナルカラーの判定②	パーソナルカラー判定の手順ややり方について
19	パーソナルカラーの判定②	判定のポイントについて
20	パーソナルカラーの判定④	各シーズンにあうファッションの特徴について
21	パーソナルカラーの判定⑤	配色の基礎について
22	パーソナルカラーの判定⑥	セパレーションカラー、アクセントカラーの効果について
23	パーソナルカラーの判定⑦	表現したいイメージを色によって作り出す方法について
24	アドバイス実践①	混色の原理について

25	アドバイス実践②	各シーズンに合うヘアカラーや髪の毛の仕組みについて
26	アドバイス実践③	各シーズンに合うメイク・ネイルカラーの特徴について
27	アドバイス実践④	各シーズンに合うブライダルの特徴について
28	パーソナルカラーのアドバイス	パーソナルカラー判定について
29	後期試験	後期まとめ試験
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）	2	60
使用教材	ヘアアレンジ一式、ヘアアレンジテキスト（デジタルテキスト）		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする。				
到達目標	ブラッシング・ピンニングのヘアアレンジの基本テクニックを理解する。 編み込みやコテの使用等のヘアアレンジが出来るようになる。 就職活動に必要なセルフテクニックを知る。				
評価基準	テスト 50%、提出物 30% 授業意欲 20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	美容実習Ⅰ-C・美容実習Ⅰ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	富田 他7名	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティスト				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション、道具の使い方、 頭部のポイント、コーム・ブラッシング	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認、 基礎知識、頭部名称
2	ブロッキング、ゴム結い（一束結い）、ピンニング	ブロッキング、ポニーテール導入
3	三つ編み・編み込み	ポニーテール反復練習 三つ編み・編み込み導入&練習
4	片編み込み・フィッシュボーン	片編み込み・フィッシュボーン導入&練習
5	ポニーテールテスト スタイル作り①	ポニーテールテスト、振り返り 学んだテクニックを使いスタイルを作る

6	スタイル作り②	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り
7	ヘアアイロン	アイロン導入
8	ヘアアイロン	アイロン反復練習
9	ホットカーラー	ホットカーラー導入
10	ホットカーラー	ホットカーラー反復練習
11	ホットカーラー・逆毛	ホットカーラー反復練習・逆毛導入
12	ホットカーラー・逆毛	ホットカーラー、ピンニング、逆毛反復練習
13	スタイル作り③	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り
14	テスト	実技テスト
15	総合授業	まとめを行う
16	後期オリエンテーション シニヨン・土台作り/夜会巻き	シニヨン・土台作り/夜会巻き導入
17	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
18	夜会巻①	夜会巻(導入・練習)
19	夜会巻②	夜会巻(練習)
20	夜会巻③	本夜会(導入・練習)
21	夜会巻⑤	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)
22	和装・洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
23	和装・洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
24	和装・洋装スタイル③	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成

25	和装・洋装スタイル④	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
26	和装・洋装スタイル⑤	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
27	和装・洋装スタイル⑥	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
28	和装・洋装スタイル⑦	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
29	和装・洋装スタイル⑧	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム		
必修選択	選択	(学則表記)	未来デザインプログラム		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）	1	30
使用教材	7つの習慣」テキスト、夢のスケッチブック		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する ・他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を発揮できるようになる 				
評価基準	小テスト／レポート：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	キャリア支援／就職対策等				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	藤田 奈々香/山智之/上垣裕子 川野愛佳/西村恭平/金丸愛	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	未来デザインプログラム授業への価値付けを行い、日誌を書くことの意味や今日から実行できる機会を考える
2	SANKO ワークコンピテンスを考えよう	SANKO ワークコンピテンスについて考え、理解の促進をする。
3	7つの習慣とは？	「7つの習慣」とは何かや日誌を書くことの意味についても説明し、今日からの取り組みを伝える。
4	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの概念を知り、自分制限パラダイムを取り払った状態で夢スケの日誌継続を促進する
5	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解させ、自分との約束を守ることの大切さを学ぶ

6	刺激と反応	刺激と反応の考え方を理解させ、一時停止ボタンを使っていこうと思わせる
7	言霊 ～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が成功へと繋がることを気付き・理解・行動する
8	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にし、今自分がやるべき事、考えるべき事を知る
9	選んだ道と選ばなかった道 ～常に正解を選ぶ方法～	自分の選択は自分の気持ち次第であり自分が決めたことに対して決意をさせる
10	人生のビジョン	10年後のなりたい自分像の考えさせることによって、スタプロで考えた「卒業時の姿」をより鮮明にさせる
11	大切なこととは？	なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」は、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ。自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	前期テスト	前期授業内容の確認テスト実施
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ
16	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
17	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解するため
18	Win-Win を考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
19	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
20	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、理解してから理解するという考え方があるということを知る
21	相乗効果を発揮する	人と違いがあることに価値があるということを伝える
22	自分を磨く	自分を磨くことの大切さを伝え、具体的な行動を考える
23	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続で未来は自分の選択次第ということを知る

24	人生ビジョンを見直そう	なりたい姿を鮮明にすることの大切さを知り、自分の価値観を深掘りすることで、将来のなりたい姿を確固たるものにする。同時に望む生活をするためにお金が必要であることを知り、現実的なライフプランが大切であることを理解する
25	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高めていく
26	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
27	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
28	後期テスト	後期授業内容の確認テスト
29	7つの習慣授業の復習	7つの習慣の復習をし、理解する
30	2年生に向けて	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザイン		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザイン		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）	1	30
使用教材	NESTA Essential Life Skills		出版社	NESTA JAPAN	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自己成長と社会適応力を高め、充実した社会人へ向けての準備をする。				
到達目標	自己の人生をコントロールする方法を理解することができる。 健全な人間関係構築のための考え方を身につけることができる。				
評価基準	授業態度：30% レポート・課題など（提出物）：70%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	就職対策Ⅰ・Ⅱ / キャリアデザイン				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	笹谷 幸恵	実務経験	○		
実務内容	カラーリストとしてフリーで活動				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 「大人になる」ために	キャリアデザイン・NESTA 授業について
2	自分の人生をコントロールするには 何を望み、それをどう得るか？	「大人として人生を見る」とは…、自己管理、関係構築、社会的責任の理解と実践を知る。 日常の小さな選択から人生の大きな決断まで、自分の望みを見極め、それを実現する方法を学ぶ。
3	変化する世界をどう生きるか？ 人間と社会性 友情の役割とその 育て方	変化する世界に適応し、テクノロジーと倫理的な使い方を学ぶ 友情の大切さ、質の高い友人関係の築き方と維持方法、及び人間関係の影響について学ぶ
4	家族の中の自分 恋愛における人間関係	家族内での役割と責任の重要性、家族の絆、お互いを支え成長する方法を学び 恋愛における自己理解と相手との健康的な関係構築方法を学ぶ

5	効果的なコミュニケーションスキル	効果的なコミュニケーションスキルの基礎と、会話の始め方、対立の解決方法を学ぶ
6	キャリアの形成と職業選択 仕事で成功する方法	自分の興味・適性に合った仕事を見つけ、キャリア形成の方法と履歴書、エントリーシート等の就職の手順を学ぶ 新しいスキル習得やプロフェッショナルな印象を与える服装選び、インポスター症候群の克服方法を学び、職場で成功する基盤を築く
7	「給料」について考える	お金の大切さと賢い使い方を学び、給与計算、税金、貯蓄、投資の基礎知識を学ぶ。
8	住まいと車の選び方 生活の中での予期せぬ事態への備え	一人暮らしの準備と管理、自宅の役割、適切な住まいの選び方、賃貸と購入の比較、引越しの計画、生活空間のデザイン、安全な住環境の確保、適切な交通手段の選択方法を学ぶ。 予期せぬ事態に備える重要性、家のメンテナンス、電気・水害対策、他者からの助けの求め方を学ぶ
9	楽しく健康的に食べる・栄養の基本 メンタルヘルス 責任ある「市民＝社会の一員」であるための方法・失敗から学ぶ未来への教訓	栄養の基本、健康維持方法、健康的な食事習慣形成、健康的に食べる方法を学ぶ メンタルヘルスの基礎、困難への対処法、薬物乱用問題を学ぶ 社会人の責任、倫理的行動、社会への積極的な貢献、情報収集の重要性、意思決定を行う自分の役割を学ぶ
10	同上	各校フリー ・教務や就職イベント ・教務講話 ・HR などの実施
11	同上	同上
12	同上	同上
13	同上	同上
14	同上	同上
15	同上	同上
16	前期振り返り 後期オリエンテーション	前期の振り返り 後期実施内容について

17	同上	各校フリー ・教務や就職イベント ・教務講話 ・HR などの実施
18	同上	同上
19	同上	同上
20	同上	同上
21	同上	同上
22	同上	同上
23	同上	同上
24	同上	同上
25	同上	同上
26	同上	同上
27	同上	同上
28	同上	同上
29	同上	同上
30	同上	同上

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）	1	30
使用教材	美容学生のための就活教科書		出版社	株式会社 ADE CREATES	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身に付ける				
到達目標	就職活動に向けて準備・行動ができている状態				
評価基準	テスト：30% 提出物・課題：40% 授業態度：30%				
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	山 智之	実務経験	○		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人間力	これからの流れについて 継続力の大切さについて
2	夢	メイクの仕事について
3	人間力	人間関係の考え方について
4	夢	ネイルの仕事について
5	人間力	チャレンジすることの大切さについて 挨拶の大切さについて
6	夢	エステの仕事について

7	人間力	漢字から読みとる心の授業
8	夢	ブライダルの仕事について
9	人間力	継続力が成果を生む・メティスについて
10	夢	ヘアアレンジ（美容師）の仕事について
11	人間力	感謝の心について
12	夢	若手実業家について
13	人間力	チームワークについて
14	夢	礼儀について
15	人間力	総まとめ
16	人間力	オリエンテーション
17	人間力	担任の想い
18	人間力	集団で良いチームを作る①
19	人間力	集団で良いチームを作る②
20	夢	卒業生講話
21	人間力	感謝について
22	夢	卒業生講話
23	夢	卒業生講話
24	人間力	感謝について
25	夢	専門コースについて

26	夢	専門コースについて
27	夢	専門コースについて
28	人間力	2年次の自分を想像する
29	夢	春休みの就職活動について
30	夢	春休みの就職活動について

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践 I - A		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践 I - A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）	3	90
使用教材	ヘア→ウィッグ、カット教材一式、カラー教材一式、ドライヤー、 ブラシ類、スタイリング剤		出版社	公益財団法人理容師美容師試験 研修センター	
	メイク→メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック・問題集			メイク→ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ヘア→サロンワークに必要なカットスタイルの基礎を理解し、スタイルに合わせたブローやスタイリングを学ぶ。カラーリングの基礎を理解し、実践的に学ぶ。 メイク→スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	ヘア→実践に結び付く技術 カット・ブロー・アイロン・カラーリングの習得。 学んだ技術により、ひとつのスタイルを作成する。 メイク→スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。 人にメイクが出来るようになる。				
評価基準	ヘア(テスト 30% 小テスト 20% 提出物 20% 授業態度 30%) メイク(テスト 50%、提出物 30% 授業意欲 20%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	美容実践 I 美容技術理論 II				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「カット・パーマ・カラー」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	加藤 里奈他	実務経験	○		
実務内容	美容部員				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的・評価基準・マナールール説明 教材確認（教材の名称・扱い方・管理方法）
2	カット ブロー	ワンレングスカット ハンドブロー、ハーフラウンドブラシブロー

3	カッティング基礎	グラデーションカット
4	カッティング基礎 ブロー	グラデーションカット ハンドブロー、ハーフラウンドブラシブロー（ロールブラシ）
5	カッティング基礎 ブロー	グラデーションカット ハーフラウンドブラシブロー（ロールブラシ）、グラデーションスタイルブロー スタイリング（アイロン）
6	カッティング基礎	レイヤーカット
7	カッティング基礎 ブロー	レイヤーカット ハーフラウンドブラシブロー（ロールブラシ）、レイヤースタイルブロー
8	カッティング基礎 ブロー	レイヤーカット ハーフラウンドブラシブロー（ロールブラシ）、レイヤースタイルブロー スタイリング（アイロン）
9	ブロー テスト	スタイルブロー まとめを実施する
10	カラーリング基礎	ヘアカラーの種類、脱色剤、染毛メカニズム、色の基本 ヘアカラー・ヘアブリーチ・ヘアマニキュア塗布練習
11	カラーリング	ヘアカラー、ヘアマニキュア塗布練習
12	カラーリング テスト	ヘアカラー塗布 総まとめを実施する
13	アイロンセット	アイロンワーク
14	応用	スタイル作成・フリーカット
15	総合授業	前期振り返り
16	Data[2-16-1]	Data[2-16-2]
17	Data[2-17-1]	Data[2-17-2]
18	Data[2-18-1]	Data[2-18-2]
19	Data[2-19-1]	Data[2-19-2]
20	Data[2-20-1]	Data[2-20-2]

21	Data[2-21-1]	Data[2-21-2]
22	Data[2-22-1]	Data[2-22-2]
23	Data[2-23-1]	Data[2-23-2]
24	Data[2-24-1]	Data[2-24-2]
25	Data[2-25-1]	Data[2-25-2]
26	Data[2-26-1]	Data[2-26-2]
27	Data[2-27-1]	Data[2-27-2]
28	Data[2-28-1]	Data[2-28-2]
29	Data[2-29-1]	Data[2-29-2]
30	Data[2-30-1]	Data[2-30-2]
31	Data[2-31-1]	Data[2-31-2]
32	Data[2-32-1]	Data[2-32-2]

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践 I - B		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践 I - B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）		90
使用教材	メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト） エアブラシ道具・ボディージュエリー道具、その他特殊用品等		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	<p>【特殊・アーティスト・モデルメイク】ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする</p> <p>【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。</p>				
到達目標	<p>【特殊・アーティスト・モデルメイク】特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる</p> <p>【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。 人にメイクが出来るようになる。</p>				
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・【特殊・アーティスト・モデルメイク】(テスト 30%、提出物 10% 授業意欲 10%) ・【ベーシックメイク】(テスト 30%、提出物 10% 授業意欲 10%) 				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	美容実践 II - B				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・(ベーシックメイク) + (特殊・アーティスト・モデルメイク) 				
担当教員	米田 理奈他	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティスト				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ボディアート①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法) ボディアート等の実践
2	ボディアート②	ボディアート等の実践
3	傷メイク①	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの導入

4	傷メイク①	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの実践
5	老人メイク①	老婆のメイクを実践する
6	老人メイク①	老父のメイクを実践する
7	舞台メイク②	舞台の女役メイクを実践する
8	舞台メイク②	舞台の男役メイクを実践する
9	アニマルメイク①	テーマに基づいたメイクの導入・実践
10	アニマルメイク①	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
11	作品制作①	テーマに合わせたメイクを実践する
12	作品制作①	テーマに合わせたメイクを実践する
13	作品制作①	テーマに合わせたメイクを実践する
14	作品制作①	テーマに合わせたメイクを実践する テスト、振り返り
15	総合授業	まとめを行う
16	Data[2-16-1]	Data[2-16-2]
17	Data[2-17-1]	Data[2-17-2]
18	Data[2-18-1]	Data[2-18-2]
19	Data[2-19-1]	Data[2-19-2]
20	Data[2-20-1]	Data[2-20-2]
21	Data[2-21-1]	Data[2-21-2]
22	Data[2-22-1]	Data[2-22-2]

23	Data[2-23-1]	Data[2-23-2]
24	Data[2-24-1]	Data[2-24-2]
25	Data[2-25-1]	Data[2-25-2]
26	Data[2-26-1]	Data[2-26-2]
27	Data[2-27-1]	Data[2-27-2]
28	Data[2-28-1]	Data[2-28-2]
29	Data[2-29-1]	Data[2-29-2]
30	Data[2-30-1]	Data[2-30-2]
31	Data[2-31-1]	Data[2-31-2]
32	Data[2-32-1]	Data[2-32-2]

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅰ - C		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅰ - C		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）		90
使用教材	<p>【花嫁着付け】教本・花嫁テキスト・ゆかた本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ひも（モスリン（4点）仮ひも（1））長襦袢（半えり付）・和装スリッパ（下着）・クリップ（5点セット）足袋</p> <p>【ベーシックメイク】メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）</p>			出版社	【花嫁着付け】桜花出版 KW

科目の基礎情報②

授業のねらい	<p>【花嫁着付け】着付に関する知識・技術を身につける。</p> <p>【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。</p>				
到達目標	<p>【花嫁着付け】着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。</p> <p>技術の習得目安として、・着付け3級（12月強制受験 免許免除）を取得することが出来る。</p> <p>【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。</p> <p>人にメイクが出来るようになる。</p>				
評価基準	<p>・【花嫁着付け】（検定試験：20% テスト：15% 授業態度：15% ・【ベーシックメイク】（テスト 30%、提出物 10% 授業意欲 10%）</p>				
認定条件	<p>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</p> <p>・成績評価が2以上の者</p>				
関連資格	一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	美容実践Ⅱ - C				
備考	<p>・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。</p> <p>・（ベーシックメイク） + （花嫁着付け）</p>				
担当教員	今 垂弓他	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティスト				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認

2	小紋の着せ方 1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方 2	小紋の着付（裾線、衿合せ）、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方 3	小紋の着付（お端折の作り方）を学び実践する
5	小紋の着せ方 4	半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する
6	小紋の着せ方 5	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
7	小紋の着せ方 6	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
8	小紋の着せ方 7	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	着付け 3級検定（小紋の着付と蝶結び（20分））を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学	着物の名称と用語（プリント①②）について 試験結果を通知する
12	小紋と名古屋帯	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
13	振袖の着せ方 1	振袖の着付、補整の仕方（胸元・肩・ウエスト）、たたみ方を学び実践する
14	振袖の着せ方 2	袋帯について、結び方を学び実践する
15	総合学習	総まとめを行う
16	Data[2-16-1]	Data[2-16-2]
17	Data[2-17-1]	Data[2-17-2]
18	Data[2-18-1]	Data[2-18-2]
19	Data[2-19-1]	Data[2-19-2]
20	Data[2-20-1]	Data[2-20-2]

21	Data[2-21-1]	Data[2-21-2]
22	Data[2-22-1]	Data[2-22-2]
23	Data[2-23-1]	Data[2-23-2]
24	Data[2-24-1]	Data[2-24-2]
25	Data[2-25-1]	Data[2-25-2]
26	Data[2-26-1]	Data[2-26-2]
27	Data[2-27-1]	Data[2-27-2]
28	Data[2-28-1]	Data[2-28-2]
29	Data[2-29-1]	Data[2-29-2]
30	Data[2-30-1]	Data[2-30-2]
31	Data[2-31-1]	Data[2-31-2]
32	Data[2-32-1]	Data[2-32-2]

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践 I - D		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践 I - D		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）	3	90
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック・ジェル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルについて歴史などの背景から始まり各部名称や病気・消毒法などを理解し、 基礎的なマニキュア技術を実践できる				
到達目標	ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、JNEC 3級レベルを習得				
評価基準	小テスト 30%・授業態度他 10%・筆記テスト 30%・実技テスト 30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3級 / JNA ジェルネイル検定初級				
関連科目	サロンワーク II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	広瀬 裕美子	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにて19年勤務。現在プライベートネイルサロンのオーナーを務める。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材配布・テーブルセッティング	教材確認及び名称・用途説明 検定を意識したテーブルセッティングを学ぶ
2	導入 ネイル概論	5パターンのファイリング方法を学ぶ 美容理論での爪の構造と働きの違いを学ぶ。
3	ネイル概論 ポリッシュカラーリング 実技	歴史や技術体系を学ぶ ポリッシュの塗り方を学ぶ
4	小テスト ファイリング・バッフィング	相モデルでのファイリング練習と、バッフィングを学ぶ
5	小テスト・ネイル概論 カラーリング（相モデル）	相モデルでポリッシュの塗り方を学ぶ

6	ネイル概論 キューティクルケア	ケアの方法を学ぶ
7	ジェルネイル概論 第一課題 相モデル	ジェルに関しての知識を取得する ジェル検定に向けて第一課題を通して練習する
8	小テスト キューティクルケア	ジェル検定に向けて第一課題を練習する
9	小テスト 第一課題 相モデル	ジェル検定に向けて第一課題を通して練習する
10	ネイル概論 ファイル～ケア	ファイリング～ケアまで通して練習する
11	ジェルカラーリング 実技 オフ 実技	ジェルでのカラーリング方法と、ジェルのオフの方法を学ぶ
12	小テスト 片手ケア～カラーリング～オフ	ジェル検定初級とは違った、両手のカラーリングを学ぶ
13	ジェルアート（ピーコック） 赤ジェル～ピーコック 実技	初級の検定内容になっているジェルアートの技法を学び、練習する
14	ネイル概論 ペイントアート	アクリル絵の具を使ったネイルアートを学ぶ
15	第二課題 実技	第二課題をマスターする
16	小テスト	カラーリング～ペイントアート 実技
17	第二課題 実技	第二課題をマスターする
18	ケア～カラー 実技	ケアを中心に復習する
19	筆記試験 検定説明・初級 DVD	筆記試験・検定説明・初級 DVD
20	3級内容 実技	実技試験練習
21	ジェル検定初級 通し	第一課題から第二課題まで全てを通して練習をする
22	3級内容 実技	実技試験練習
23	ジェル検定初級 通し	第一課題から第二課題まで全てを通して練習をする
24	実技テスト 3級内容 筆記テスト 練習	事前審査 5分 実技試験 70分 チェック 10分

25	実技試験 ジェル検定初級内容	事前審査5分 第一課題35分 第二課題60分
26	実技テスト3級内容 筆記テスト 本番	事前審査5分 実技試験70分 チェック10分
27	実技試験 ジェル検定初級内容	事前審査5分 第一課題35分 第二課題60分
28	3級 通し	事前審査5分 実技試験70分 チェック10分
29	総合授業	総まとめを行う
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅰ - E		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅰ - E		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）		90
使用教材	【ネイル検定対策】JNA テクニカルシステム ベーシック、ネイル用具一式 【ベーシックメイク】メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【ネイル検定対策】ネイルについて歴史などの背景から始まり各部名称や病気・消毒法などを理解し、基礎的なマニキュア技術を実践できる 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	【ネイル検定対策】ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、JNEC3級レベルを習得 【ベーシックメイク】スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。 人にメイクが出来るようになる。				
評価基準	・【ネイル検定対策】(検定結果15%・授業態度他5%・筆記テスト15%・実技テスト15%) ・【ベーシックメイク】(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNA ジェルネイル検定初級				
関連科目	美容実践Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・(ベーシックメイク) + (ネイル検定対策)				
担当教員	鈴木	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクアップアーティスト				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材配布・ テーブルセッティング ネイル概論（マニキュアの歴史）	教材確認及び名称・用途説明 検定を意識したテーブルセッティング・ケアカラーとは何かを学ぶ
2	爪の構造 ファイリング実技 （トレーニングハンド）	爪の各部名称を覚える エメリーボードの持ち方、 支え方、角度、動かし方など様々なカットスタイルをマスターする

3	ケアデモ ケア実技	手順と用具の使用法を学ぶ ウッドスティック削り・コットンの巻き方
4	消毒法 ファイリング・パフフィン グ実技（ハンド・相モデル）	ネイル技術における消毒法などを学ぶ
5	ケア実技(相モデル)	ケア手順をマスターする
6	カラーリング・オフ デモ シート実技	カラーリングをマスターする
7	カラーリング 相モデル実技	同上
8	ケア～カラーリング～ ポリッシュリムーブ実技	ケア・カラー手順をマスターする
9	フラットアート講義・デモ 実技(アクリル絵の具)	3級検定用アートなどの 基本のアートを学ぶ チップにラウンド・カラー・アートの宿題
10	爪の病気とトラブル・カウンセリ ング 検定説明	爪のトラブルを覚え、カウンセリングの必要性を学ぶ J NEC 3級検定受験についての説明
11	ケア・カラー・アート実技	検定技術をマスターする ※3級検定受験者には チップにラウンド・カラー・アートの宿題
12	ケア・カラー・アート実技	同上
13	筆記試験 ケア・カラー実技	筆記試験 J NEC 3級検定受験内容に準じる
14	実技試験	実技試験 J NEC 3級検定受験内容に準じる
15	総合授業	総まとめを行う
16	Data[2-16-1]	Data[2-16-2]
17	Data[2-17-1]	Data[2-17-2]
18	Data[2-18-1]	Data[2-18-2]
19	Data[2-19-1]	Data[2-19-2]
20	Data[2-20-1]	Data[2-20-2]

21	Data[2-21-1]	Data[2-21-2]
22	Data[2-22-1]	Data[2-22-2]
23	Data[2-23-1]	Data[2-23-2]
24	Data[2-24-1]	Data[2-24-2]
25	Data[2-25-1]	Data[2-25-2]
26	Data[2-26-1]	Data[2-26-2]
27	Data[2-27-1]	Data[2-27-2]
28	Data[2-28-1]	Data[2-28-2]
29	Data[2-29-1]	Data[2-29-2]
30	Data[2-30-1]	Data[2-30-2]
31	Data[2-31-1]	Data[2-31-2]
32	Data[2-32-1]	Data[2-32-2]

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践 I - F		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践 I - F		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	美容科（2年制）		90
使用教材	ヘアカラーリスト→HAIR COLOR ACADEMYのwebコンテンツ、ウィッグ、カラー教材一式 メイク→メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック・問題集		出版社	メイク→ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ヘアカラーリスト→基本的なカラーの考え方が理解・実践できる。 メイク→スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	ヘアカラーリスト→オンカラー塗布が適切にできる。全頭ブリーチが適切にできる。長さ別のリタッチが適切に塗れる。 メイク→スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。人にメイクが出来るようになる。				
評価基準	ヘアカラーリスト(テスト 30% 小テスト 20% 提出物 20% 授業態度 30%) メイク(テスト 50%、提出物 30% 授業意欲 20%)				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	美容実践II 美容技術理論I				
備考	原則、この科目は対面授業形式で実施する。 この科目は「ヘアカラーリング」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的・評価基準・マナールール説明、 教材確認（教材の名称・扱い方・管理方法）、HAIR COLOR ACADEMYについてと使用方法の説明を行う
2	オンカラー塗布とは①	HAIR COLOR ACADEMY 全頭カラーについて
3	オンカラー塗布とは②	オンカラー塗布練習とチェックを行う

4	全頭ブリーチとは①	HAIR COLOR ACADEMY 全頭ブリーチについて
5	全頭ブリーチとは②	ウィッグ全島ブリーチ練習とチェックを行う
6	ブリーチリタッチとは①	HAIR COLOR ACADEMY ブリーチリタッチについて
7	ブリーチリタッチとは②	ブリーチリタッチ練習とチェックを行う
8	ブリーチロングリタッチとは①	HAIR COLOR ACADEMY ロングリタッチについて
9	ブリーチロングリタッチとは②	ブリーチロングリタッチ練習とチェックを行う
10	ブリーチ選定理論とは①	ブリーチ選定攻略マニュアル（製作中）／毛束実習（15Lv、17Lv、19Lv 作る）について
11	ブリーチ選定理論とは②	ブリーチ選定理論、選択式学科テストを行う
12	薬剤選定理論とは①	薬剤選定攻略マニュアル／毛束実習（色味指定）について
13	薬剤選定理論とは②	薬剤選定理論、選択式学科テストを行う
14	実技テスト	オンカラー＋薬剤選定 実技テストを行う
15	総合授業	前半の振り返りを行う
16	Data[2-16-1]	Data[2-16-2]
17	Data[2-17-1]	Data[2-17-2]
18	Data[2-18-1]	Data[2-18-2]
19	Data[2-19-1]	Data[2-19-2]
20	Data[2-20-1]	Data[2-20-2]
21	Data[2-21-1]	Data[2-21-2]
22	Data[2-22-1]	Data[2-22-2]

23	Data[2-23-1]	Data[2-23-2]
24	Data[2-24-1]	Data[2-24-2]
25	Data[2-25-1]	Data[2-25-2]
26	Data[2-26-1]	Data[2-26-2]
27	Data[2-27-1]	Data[2-27-2]
28	Data[2-28-1]	Data[2-28-2]
29	Data[2-29-1]	Data[2-29-2]
30	Data[2-30-1]	Data[2-30-2]
31	Data[2-31-1]	Data[2-31-2]
32	Data[2-32-1]	Data[2-32-2]